

多可町公共施設等再配置計画(第Ⅰ期)(案)パブリックコメント意見に対する回答

○募集期間: H30.1.10～1.23
○提出方法: 郵送、FAX、メール、持参

受付日	提出方法	意見内容	回答
H30.1.16	郵送	ベルディーホールという文化会館に人々があつまるとな「もよおし物」をすれば良いと思う。子供達に頑張ってもらって（例、播州歌舞伎）。皆様にわかりやすくするとか、播しゅう織の、昔のやり方が八千代の工場にあるとか展示、それをベルディーホールですとか！	・ベルディーホールについては、「多可町公共施設等再配置計画(Ⅰ期)」(案)では、第一段階評価で「C」となり、Ⅰ期期間では現状維持となっています。 ・なお、「多可町公共施設等総合管理計画」において、ベルディーホールも基本的な方針として「利用向上」を記載しており、今後も利用者増加のための取組みを図っていくこととなっています。
H30.1.23	FAX	平成17年に多可町が誕生しました。合併時より公共施設等（ハコ物）の取組みは大きな課題であり、財政的な圧迫が懸念されていました。平成22年に第2次多可町行政財政改革大綱（平成22年度～平成26年度）が作成され、事務・事業の見直し等がありました。 既存事業については、事業仕分けや外部評価を取り入れることにより、必要性や役割が薄れてきている事業については縮小・廃止します。又、同種同様の公共施設については公共施設検討委員会で検討し、統廃合を推進することで経費の削減を図りますとされました。 そして、3ヶ年で32事業の「事業仕分け」を実施しますと計画され、多可町番「事業仕分け」が開催されました。その目的の一つ目は「役場の経営改善」であり、事務事業の無駄の削減と前例踏襲体制のみなおしです。二つ目は「新しい公共の形成」に置いており、住民の皆さんと役場職員とが、公の場で一緒になって税金の使われ方を知り、問題意識を共有して地域創造に資することです。と町長からの手紙に記載されました。 平成24年に8事業、25年に7事業が実施されました。多くの資料が提出され、傍聴者にとって良い勉強になり非常に関心を持ちました。26年は実施されなかったのが役場に問合せしましたが、今年はないとの返事で以後も開催されず非常に残念でした。 判定人・傍聴人・意見書提出人から、①不要・凍結 ②町要改善 ③現行通り の判定の後、事業仕分けから得た改善視点として町の方針が出ました。 仕分けの判定結果に対し、多可町行政改革推進委員会より意見書を提出。事業仕分けで、「不要・凍結」と判定された多可町農林業公園ハーモニーパークについては、赤字に相当する指定管理料が年約3800万円と突出して大きいとし、「不要・凍結」と判定した。戸田町長はハーモニーパーク・青年の家・エアーレーベン八千代・なごみの里山都の指定管理4施設を廃止する方針を示しており、「町財政は待ったなしの状況。意見書を真摯に受け止め、同じ方向の結論を出した」と話された。3選された後も「地方交付税が年約10億円減る事態が今後見込まれる。不要不急の事業、施設は見直さなければいけない」と施設の統廃合などを推し進める方針を打ち出し、現在に至っている。 指定管理施設には、約2億の指定管理料が出ており、議会でも重複している施設がないか、どうしても必要な施設なのか、不採算の原因は何か等、管理料の削減を検討されていますが、具体的な方針を聞いていません。今後、各施設の経理状況も公表すべきだと思います。 今回の多可町公共施設等再配置計画は遅きですが、今までの経過を熟慮しながら、早急に進めるべきです。 内容については、専門的な要素が多くあり、難しく理解しがたい部分が大半ですが、各施設の方向性はある程度理解できます。 個人的には、アグリハウスふれっしゅあぐり館のように、完全民営化して、できれば地元に譲渡する方向が一番と思います。譲渡等が難しければ、修繕せずに廃止・取壊しすべきです。無理に残せば維持管理等に今後費用が掛かるので、思い切った決断が必要です。 今後の進め方ですが、委員会のメンバーに各種団体代表だけでなく、公募委員も入れるべきだと思います。関心を持った人たちの英知も結集して、官・民一体の議論を期待しつつ、繰り返しますが早急の結論を願望します。 不勉強なものが、意見を申ししますがお許しください。	・「多可町公共施設等再配置計画(Ⅰ期)」(案)を確実に推進していくため、「PDCAサイクル」を活用した効果検証などにより進捗管理を行っていきます。 ・また、同計画の進捗管理を行う際には、委員会のメンバーに公募委員を入れるなど、広く住民意見を取り入れる工夫を検討していきます。 ・なお、ご指摘の4施設については、下記のとおりとなっています。 ①農林業公園「ハーモニーパーク」・・・第1段階評価でE判定、第2段階評価で△⇒▲。なお、H33年度から民間へ使用貸借の予定(P.34) ②青年の家「エコミール加美」・・・第1段階でE判定、第2段階で△⇒▲。なお、H30年度から民間へ使用貸借予定(P.35) ③農林産物加工処理施設「エアーレーベン八千代」・・・第1段階でC判定のためⅠ期間では現状維持(P.35) ④大和体験交流活性化施設「なごみの里山都」・・・第1段階評価でD判定、第2段階評価でO(△⇒▲)(P.35) ※O、△、▲、の意味(方針)について・・・ ・「O」⇒第Ⅰ期は維持補修、更新しつつ現状維持 ・「△」⇒譲渡等検討、手放す方向で調整 ・「▲」⇒現状維持するが修繕しない